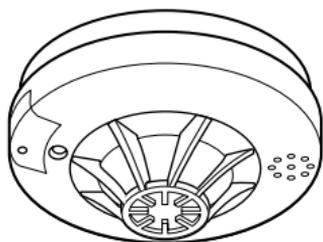


# 日立ねつ式住宅用火災警報器 HFD-201形



一般家庭用

屋内専用

- 日本消防検定協会 鑑定品
- 定温式住宅用火災警報器
- 電池方式 10年タイプ
- 熱感知部の自動試験機能付
- 電池寿命警報機能付

## 重要事項の説明

- この商品は火災の熱を感知して警報する住宅用火災警報器です。消火装置や火災防止機器ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご承知ください。
- この商品は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品ですが、消防法で定められた「自動火災報知設備」には該当しません。
- この商品は熱を感知して作動しますが、他の部屋などの火災の熱では警報を発しません。
- この商品は台所の設置に適しています。
- 正常に動作させるために、1か月ごとの定期点検を必ず行ってください。定期点検の方法はこの取扱説明書に記載されております。

お買い上げありがとうございます。

この「取扱説明書」を良くお読みになり、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保存してください。

# 1.安全上のご注意

- ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです、
- 注意事項は次のように区分しています。何れも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

## <絵表示の例>

	<p>⊘ 記号は、「禁止」(しないでください)を示します。</p> <p>⊘「分解禁止」      ⊘「水ぬれ禁止」</p> <p>⊘「水場での使用禁止」</p>
	<p>● 記号は、「強制」(必ずしてください)を示します。</p> <p>●「一般的な行為」</p>

## 警告



分解・改造はしない。落下させたり衝撃を与えたりしない。（故障の原因）



壁・はりの近くや吊り下げ式の照明器具や・タンスなどの真上には取りつけない。  
（警報しない恐れ）



3日以上留守にされたときは、必ず点検する。  
（電池切れなどで火災警報を発しない恐れ）

## 注意



他の部屋などで発生した火災では警報を発しないことがあります。

ひもは強く引っ張らない。  
（ひもが切れたり故障の原因）



コンロやストーブの近くなど、高温環境になるところには取り付けない。  
（誤報の恐れ）

火災警報中に警報停止ボタンを押すと約5分間感知機能が停止しますので、熱を感知しません。

## 2.各部の名称と働き

### ① 熱感知部

空気の温度上昇をとらえ、火災を感知します。

### ② 警報停止ボタン

火災警報を約5分間停止できます。点検用の機能を兼ね備えています。

### ③ ひも用あな

付属の専用ひもを取り付けることができます。ひもを引くと②と同じ役割をします。

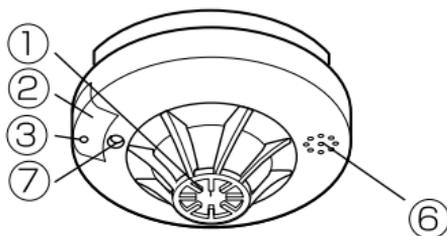
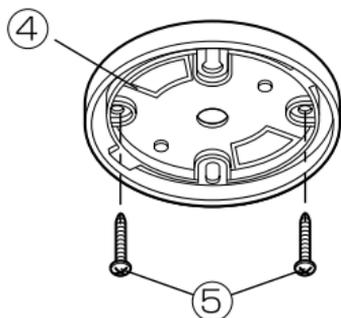
### ④ 取付ベース

天井に固定するネジ用の孔と壁掛け用のハンガーが付いています。これに本体を固定します。

### ⑤ 取付ネジ

### ⑥ 警報ブザー/⑦ 警報ランプ(赤色)

火災警報・電池寿命警報・熱感知部の自動検査による故障警報を音で報知し、警報音に合わせて警報ランプが点灯・点滅します。

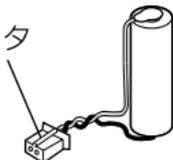


	警報ブザー	警報ランプ
火災警報	ピーピーピー (継続音)	点灯
電池寿命警報	ピッ・・・ (約1分おき)	点滅
故障警報	ピピピッ・・・ (約1分おき)	点滅

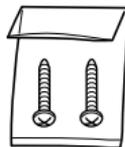
### 付属品

リチウム電池(1個)

コネクタ



取付ネジ(2本)



ひも(1本)



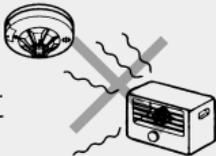
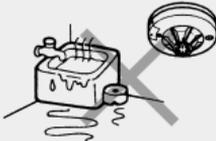
### 3.取付場所/取付位置

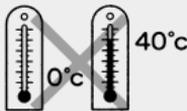
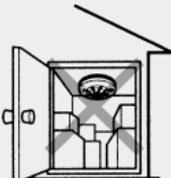
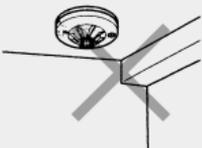
#### ⚠ 注意

設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。市町村により設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

- (1) 台所にお取り付けいただくことをおすすめします。それ以外の場所では日立けむり式住宅用火災警報器をおすすめします。
- (2) 次のようなところは、誤動作や故障の原因になりますので取り付けないでください。

#### ⚠ 注意

	<p>レンジ、ストーブ、煙突などの真上および近く。 周囲温度が40℃を下まわる場所に取り付けてください。</p>	
	<p>浴室や常時、温度や湿度が高い場所。</p>	
	<p>暖房の吹き出し口の近く。 周囲温度が40℃を下まわる場所に取り付けてください。</p>	

	<p>屋外や水のかかる場所 ・水滴の付くところ。</p>	
	<p>0℃を下回る場所、あるいは 40℃を超える場所。 または寒暖の差が激しいところ。 ※冬季の朝方など冷え込んだ時は、電池電圧が低下して 電池寿命警報が働く場合がありますが故障ではありません。</p>	
	<p>直射日光により温度上昇の はげしいところ。 周囲温度が40℃を下まわる場所 に取り付けてください。</p>	
	<p>タンスなど家具の真上。</p>	
	<p>吊り下げ型照明器具の真上。</p>	
	<p>天井のはりの近く。 40cm以上離してください。</p>	

### (3) 取り付ける前の準備

#### 警告



高所作業のため足場の安全を確保する。  
(作業者の転倒・落下のおそれ)



人気の無い離れたところに取り付けると、  
聞こえない場合があります。

#### 注意



電池は必ず付属のものを使用する。  
(故障の原因)

電池のコネクタを確実に差し込む。  
(感知しません)

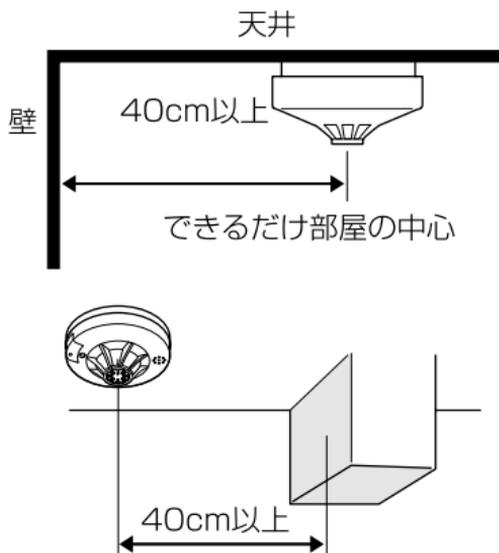
天井や壁に取り付ける場合は、補強材のある  
位置に取り付ける。  
(本体の落下によるケガのおそれ)

### (4) 次に部屋のどこに取り付けるか決めます。

- 取り付け位置は部屋の中央部の天井をおすすめしますが、高所作業が難しい場合は壁に取り付けることができます。
- あらかじめ本体の向きを決めておきます。  
壁に取り付ける場合は警報停止ボタンが下になるように取り付けます。

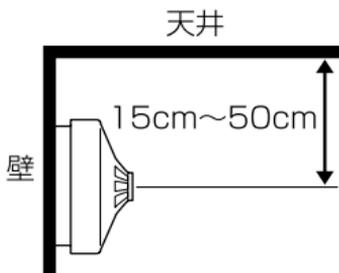
## (5) 天井・壁への取付位置

天井に取付ける場合は壁、たれ壁やはりから水平距離で40cm以上離します。



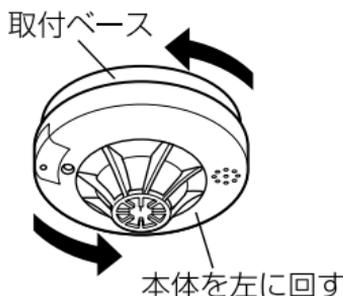
## (6) 壁に取り付ける場合

天井面より15cmから50cmの範囲を取り付け位置にします。

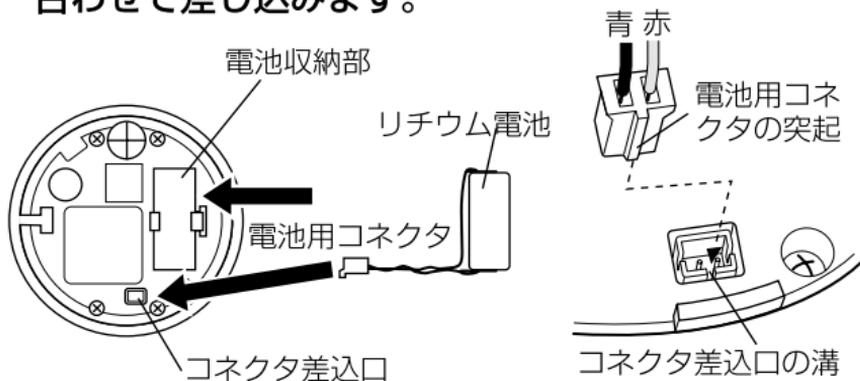


# 4.取付方法

- (1) 本体を左に回して、本体から取付ベースを外します。



- (2) コネクタ差込口の溝に電池用コネクタの突起を合わせて差し込みます。

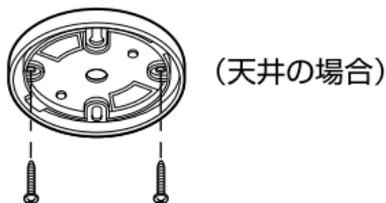


注意

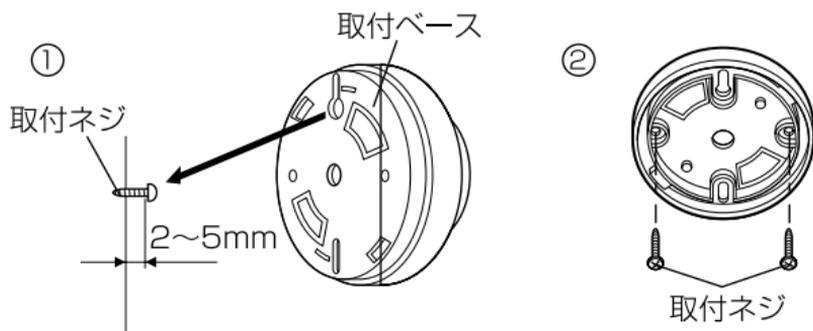
電池取付け後約5秒間は機能しません。

- (3) 電池を電池収納部に収納します。

- (4) 取付ベースを天井や壁に2本のネジで確実に取り付けます。

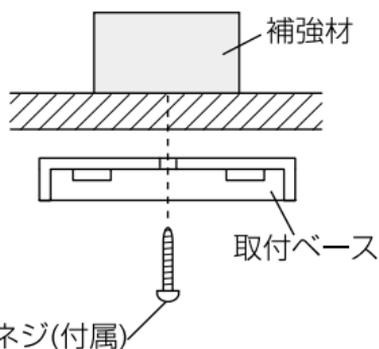


- 壁に取付ける場合は2つの方法があります。
  - ① 取付ベースのハンガー部分で吊り下げする方法。
  - ② 天井と同様に2本のネジで取り付ける方法。
- 地震などを考慮して②の方法をおすすめします。



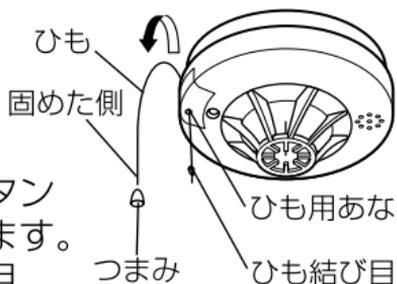
取付ベースを本体に取り付けて  
壁に吊り下げます。

- 天井や壁の補強材がある位置に取り付けます。特に天井や石こうボードやベニヤ板など強度の弱い部分の場合は必ず補強材のある位置を探して取り付けてください。壁に吊り下げる場合も同様です。



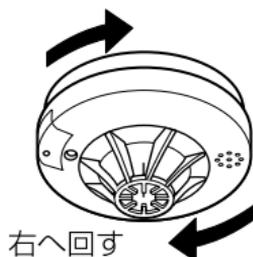
## (5) ひもを使用する場合。

- ① ひもの先端の固めていない方に結び目をつくります。
- ② ひもの先端が固めてある方を警報停止ボタンのひも用あなに通します。
- ③ つまみに通して結び目をつくります。



## (6) 取り替えの目安として本体のラベルに設置年月を記入します。

## (7) 本体を取付ベースにはめてから「カチッ」と止まるまで右に回して固定します。



## (8) 警報停止ボタンを押して「ピピッ、ピーピー」と鳴ることを確認します。

<b>⚠ 注意</b>	本体を取り付けるときは外周を持って取り付ける。(他の部分では故障のおそれ)
	落下させたものは取り付けない。 (内部破損の恐れ)
	取付ベースへの固定を確実にする。 (本体の落下によるケガのおそれ)

# 5.火災警報について

■熱を感知すると警報音と警報ランプでお知らせします。



警報音	ピーピーピー(継続音)
警報ランプ	点灯

## (1)火災のとき

火元を確認し、119番へ連絡するなど適切な処置を行い、避難してください。

## (2)火災でないとき

火災以外でも警報を発することがあります。熱源が近くにある場合は取付位置を移動します。警報停止ボタンを押すと約5分間警報を止めることができます。

また、換気をして熱感知部の温度が下がると警報は停止します。

## 6.自動試験機能について(故障警報)

- 熱感知部が熱を正常に感知できなくなった場合は自動的にこれを感知して、警報音と警報ランプでお知らせします。  
これは本体の交換の時期を示しています。  
速やかに交換してください。

警報音	ピピピッ(約1分おき)
警報ランプ	警報音に合わせて点滅

- 機器の交換の目安は10年ですが、環境やお手入れなどにより本体の交換時期が短くなることがあります。

## 7.電池寿命警報機能について (リチウム電池の寿命)

- 電池電圧が低下した場合は自動的にこれを検知して、警報音と警報ランプでお知らせします。  
電池の交換時期は約10年に設定されており、本体の交換の時期と同時期になるように設計されています。速やかに本体を交換してください。

警報音	ピッ(約1分おき)
警報ランプ	警報音に合わせて点滅

- 電池寿命はお客様の使用環境により短くなる場合があります。

---

- 上記6・7項目の警報中に熱を感知すると火災警報に切り替わります。

## 8.警報音の停止

■各々の警報音は警報停止ボタンで停止させることができます。



火災警報時	警報停止ボタンを押すと約5分間警報音が停止します。その後自動的に復帰し、熱を感知すれば火災警報を続けます。
故障警報時 (自動試験機能)	警報停止ボタンを5秒以上押すと、約24時間警報音を停止することができます。警報ランプは点滅します。
電池寿命 警報時	警報停止ボタンを5秒以上押すと、約24時間警報音を停止することができます。警報ランプは点滅します。

## 9.本体の交換時期

■本体の交換時期は自動試験(故障警報)機能及び電池寿命警報機能による警報でお知らせしますが、これに関係なく10年を経過した場合は交換することをおすすめします。

# 10.定期点検のしかた

## ● 警報機能の確認

- 月に一度、警報停止ボタンで警報音の確認をしてください。また、3日以上留守にしたときは、必ず警報機能の点検を行ってください。自動試験機能(故障警報)、電池寿命警報機能は電池がなくなるまで続きますが、約3日間を目安にしてください。

警報音	点検/処置
ピピッ、ピーピーピー	正常です。
警報を発しない	17ページの「14.故障かなと思ったときは」の各項目をご確認ください。
ピピッ、ピピピッ	
ピピッ、ピッ	
ピピッ	

 <b>警告</b>	<p>ライターなど火元を近づけない。 (故障の原因)</p>  
	<p>作業時は安定した足場を確保する。 (作業者の転倒・落下の恐れ)</p>

# 11.お手入れ方法

- 年に一度、水または中性洗剤を含ませて固く絞った布で本体の汚れを拭き取ります。熱感知部内部に触れないようしてください。熱感知部に著しい汚れが付着している場合は熱を感知できないことがありますので、本体を交換してください。

 <b>警告</b>	作業時は安定した足場を確保する。 (作業者の転倒・落下の恐れ)
	本体を分解しない。 (故障の原因)

 <b>注意</b>	本体を水洗いしない。本体に水を入れない。(故障の原因)
	ベンジンやシンナーを使用しない。 (故障の原因)

# 12.製品を廃棄するときのお願い

- 本体・リチウム電池などを廃棄する場合はお住まいの地域の条例などに従って処理してください。  
(リチウム電池には水銀はふくまれておりません。)

 <b>警告</b>	電池は、(+)(-)が短絡しないように絶縁する。(発火・破裂の原因)
--	------------------------------------

# 13.リチウム電池の注意事項

- 本器は高性能リチウム電池を使用しております。  
下記の警告を守り、安全に使用してください。

 <b>警告</b>	電池はお子様の手が届かない所で処理する。
	充電しない。ショートさせない。強制放電させない。半田付けしない。 (+)(-)を逆に接続しない。 (発火、発熱、破裂、の恐れ)
	加熱しない。分解しない。加圧変形させない。他の用途に使用しない。 カバーのフィルムは外さない。 (発火、発熱、破裂、の恐れ)
	漏液や異臭がするときは直ちに火気から離す。 (引火のおそれ)
	電池を導電性のある液体に入れない。 (可燃性ガス発生の恐れ)
	電池を火中、水中に投げ込まない。 (発火、破裂の恐れ)

# 14.故障かなと思ったときは

症状	点検/処置
火災でないのに「ピーピーピー」と警報音が鳴る。	●火災以外の熱源(ガスコンロ、ストーブなど)が近くにありませんか？ /熱源を遠ざけるか本器の設置位置を移動してください。
警報停止ボタンを押しても(あるいはひもを引いても)警報音が鳴らない。	●電池が正しく接続されていますか？ /接続を確認してください。 ●電池寿命は十分ですか？ /本体を交換してください。
警報停止ボタンを押したときに「ピピッ」と鳴る。	●警報停止の状態になっていませんか？ /約5分後再テストを行ってください。
「ピピピッ」と約1分間隔で警報音が鳴る。又は、点検時「ピピッ、ピピピッ」と鳴る。	●本体の故障です。 (本体交換の目安は10年ですが、使用環境などで短くなります。) /本体を交換してください。
「ピッ」と約1分間隔で警報音が鳴る。又は、点検時「ピピッ、ピッ」と鳴る。	●電池寿命です。電池寿命警報機能が働いていませんか？(本体交換・電池寿命の目安は10年ですが、使用環境などで短くなります。) /本体を交換してください。

# 15.仕 様

型式	HFD-201
種別	定温式住宅用火災警報器
感知方式	熱感知式
定格	DC3V 50mA
電源	専用リチウム電池
電池寿命の目安	約10年(※)
本体交換の目安	約10年(※)
試験機能	自動試験機能
音量	1mにて70dB以上
外形寸法	直径98mm×厚さ44mm
質量	約120g(電池約25g含む)
移報端子	なし
使用周囲温度	0℃～40℃

※交換の目安は10年ですが、使用環境(温度など)により短くなる場合があります。

# 16.保証とアフターサービス

## 保証書（一体）

- この商品は保証書つきです。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

**保証期間**

お買い上げ日から**1年間**

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

17ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

### ■ 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

### ■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社はこのねつ式住宅用火災警報器の補修用性能部品を、製造打ち切り後5年間保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または20ページのご相談窓口にお問い合わせください。

# 17.お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理は  
お買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日/9:00~19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)

9:00~17:00(日・祝日)

年末年始は休ませていただきます。

携帯電話、PHSからもご利用できます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

## ■リチウム電池について

■警報器に使用のリチウム電池は、市販して  
いません。  
お買い上げの販売店にご相談ください。

- リチウム電池：日立部品番号 HFD-101 001  
(電池型式：CR17450E-R-CN10)

## 九州日立マクセル株式会社

〒822-1296 福岡県田川郡福智町伊方4680

## 株式会社 日立製作所

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル

- 1.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
  - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
  - (ホ) 業務用など一般家庭以外で使用されて生じた故障または損傷。
  - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 2.この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはおお客様の負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 3.ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 4.贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書のご相談窓口にご相談ください。
- 5.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

- 
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書のご相談窓口にお問い合わせください。
  - 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.

---

修理メモ

# 日立ねつ式住宅用火災警報器保証書

持込修理

形 名	HFD-201		
保証期間	本体：1年		
※お買い上げ日	平成	年	月 日
※お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 電話 ( )	
※販売店	住所名	〒 電話 ( )	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
(裏面をご覧ください。)

 株式会社 日立製作所

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル  
電話 お客様相談センター 0120-312111